

A-39 野菜中におけるビタミンC量の季節的変動について
 武蔵川女大家政 ○ 宮崎由子

目的: 近時 野菜のなかには一年を通じて市販されているものが多く, これら周年野菜の成分値の変動について興味をもたれている。そこで数種野菜のビタミンC量を測定し, 季節間の変動をあきらかにする。

方法: 表示した12種の野菜中のビタミンC量($\text{mg}/100\text{g}$)をインドフェノール・キシレン法によって測定した。I期(5~6月) II期(7月) III期(9~10月) IV期(11~12月) V期(1月)にわけて各試料を3~5回購入し, 各試料について5~6回の繰り返し測定を行った。

結果: 各試料中のビタミンC量の平均値(元)を右表に示した。各季節の3~5回のデータより, 「母平均の差に関する検定」を適用してビタミンC量の季節間の差異を調べ, つぎの結果を得た; ピーマン I > (II \approx III) > IV, キュウリ II > IV > III > I, ミツバ II \approx IV \approx V, トマト (II \approx III \approx IV) > (I \approx V), パセリ I \approx III \approx IV, ニラ (III \approx IV) > I, キャベツ II > (I \approx III \approx IV \approx V), ハフサイ I \approx III \approx IV, ダイコン II > (IV \approx V), カリフラワー II \approx IV \approx V, リョクトウモヤシ I \approx III \approx V, ダイズモヤシ I \approx III, III \approx IV, IV > I。

試料	季節	元	試料	季節	元	試料	季節	元	試料	季節	元
ピーマン	I	137.9	トマト	I	18.0	キャベツ	I	38.7	カリフラワー	II	82.1
	II	89.6		II	27.1		II	53.4		IV	80.9
	III	94.0		III	21.2		III	39.1		V	83.2
	IV	64.8		IV	30.5		IV	39.6			
キュウリ	I	10.0	ト	V	15.3	ハクサイ	V	43.7	リョクトウモヤシ	I	14.3
	II	20.2		I	155.2		I	21.0		III	13.0
パセリ	III	12.7	セリ	III	163.7	ハクサイ	III	20.8	ダイズモヤシ	IV	13.9
	IV	17.7		IV	160.1		IV	18.1		I	7.7
ミツバ	I	15.0	ニラ	I	20.5	ダイコン	II	23.1		III	8.9
	IV	21.2		III	32.6		IV	13.1		IV	10.4
	V	22.9		IV	38.0		V	15.3			